

公表

## 事業所における自己評価総括表 放課後等デイサービス

○事業所名	カップケーキいちかわおの		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ~ 2026年 3月 16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名(兄弟含む)	(回答者数) 18名(兄弟含む世帯数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日 ~ 2026年 3月 16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	圧倒的な満足度と安心感	項目27~29でほぼ満点の評価を得てり、お子さんが「楽しみに通っている」という実感を保護者が持っている。	「的確な支援」という評価に甘んじず、今後も一人ひとりの心に寄り添い、個別の成功体験を積み重ねる支援を継続する。
2	丁寧な個別支援計画と説明	計画作成プロセスや日々の様子(HUG、電話、面談)が徹底されており、保護者の納得感が高い。	日々の記録やモニタリングの結果を、今以上に視覚的に分かりやすく共有できる工夫の活用を広げていく。
3	情報発信の利便性	アプリでの予定確認やSNS(Instagram・ブログ)での活動発信が「わかりやすい」と好評を得ている。	既存のSNSに加え、ホームページ上での自己評価結果や安全対策マニュアルの公開の周知を進め、透明性を高める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置の不透明さ	職員数は基準を満たしているが、保護者から「配置人数がわからない」との声があった。	交代制勤務や専門職の配置状況について、保護者への積極的な紹介などの配慮が不足していた。
2	地域交流機会の不足	項目11（地域の子どもとの交流）の評価が他に比べ低く、具体的な交流機会の提供が課題となっている。	個別療育や室内活動に比重が置かれており、外部機関（学童等）や地域社会との調整が不十分であった。
3	保護者間交流と研修の機会	「父母の会の活動」や「保護者向け研修会」への参加機会（項目14, 18）に迷いや不足を感じている層がいる。	保護者が顔を合わせる機会があまりなく、横のつながりを作る支援が弱まっていた。

## 事業所としてのまとめ

全体として「子どもが楽しんでいる」「安心して預けられる」という極めて高い評価をいただいております。

今後は、ソフト面（支援内容）の充実に加え、保護者の皆様が抱く「どんな先生が何人で見守ってくれているのか」という体制への視認性を高める工夫と、地域・保護者同士のネットワーク作りに注力していくことで、より開かれた事業所を目指してまいります。